

課題名：札幌南徳洲会病院ホスピス病棟に入院した患者の便秘状況について

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2018年7月～2019年6月に当院ホスピス病棟で死亡退院された患者さま

2. 研究目的・方法

札幌南徳洲会病院ホスピス病棟に入院した患者さんたちの、入院時の便秘の割合、入院時に便秘に対して使用していた薬剤、入院後の便秘の状態と浣腸や座薬の使用の頻度を検討いたします。

我が国における、ホスピス病棟入院患者の便秘患者の割合についての報告はないことから、ホスピス病棟にどれくらいの便秘患者がいるかを知ることは意義のある集計と考えられます。

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

研究期間：施設院長承認後～2019年10月

3. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、入院時の下剤の種類、入院時および入院後の便秘の状況など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：札幌南徳洲会病院 緩和ケア内科 医師 武藤修一

住所：札幌市清田区里塚一条2丁目20番1号

連絡先：011-883-0602

(2019年08月10日作成 (第1.0版))